



発行日 2020年12月1日 55号  
発行 相原まちづくり協議会  
責任者 理事長 土田 恭義  
所在地 町田市相原町 597-56  
電話 042 (774) 2982

相原まちづくり協議会

検索

## 相原駅東口整備計画進んでいます

大戸踏切立体化に伴い現在、相原駅東口から都道、町田街道に繋がる道路等の整備事業が進められています。すでに大戸踏切付近で夜間の水道工事なども行われています。

今回、広く相原町の皆様にお知らせすることを目的とし、東西連絡路の整備についても、町田市都市づくり部 地区街づくり課から寄稿頂きました。

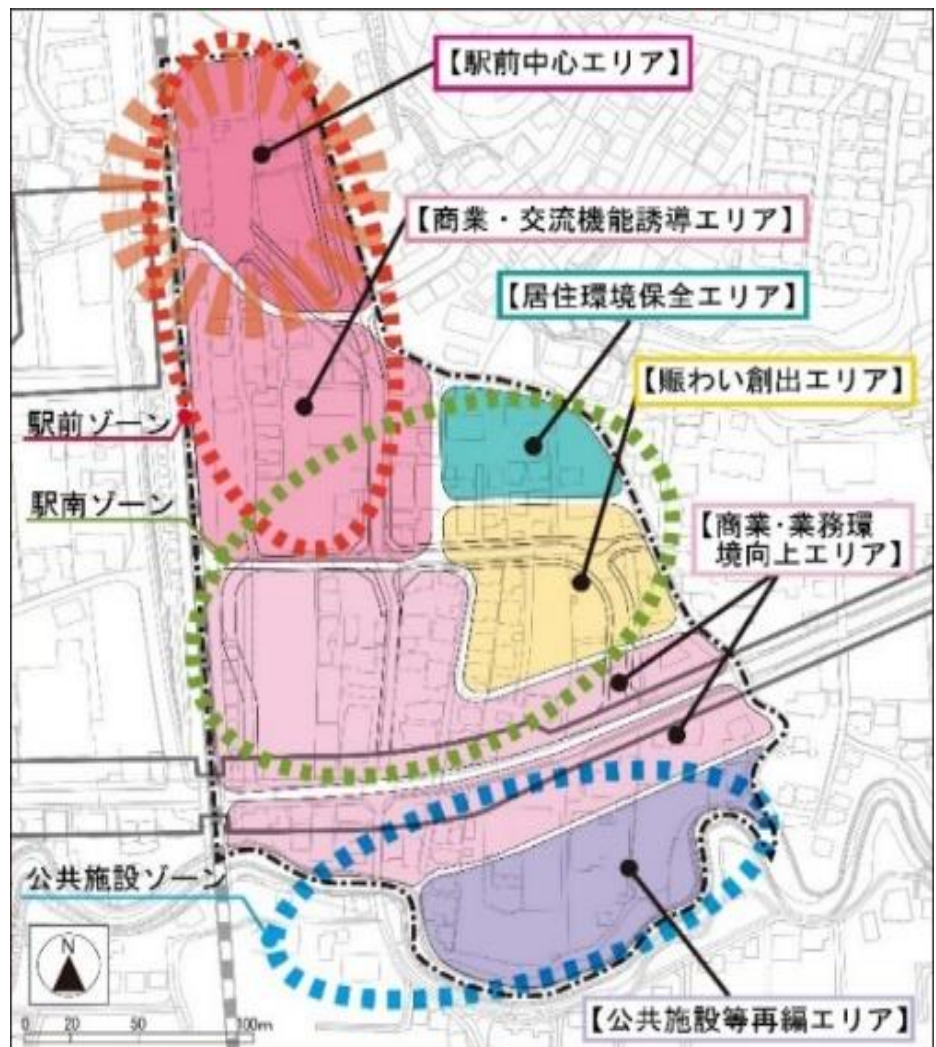
### 町田市都市づくり部 地区街づくり課 担当係長 井上 基樹

相原駅周辺は、「町田市都市計画マスタープラン」において、市民の日常生活を支える生活中心地に位置付けられており、2006年から地域の皆さまとともに検討を進めてまいりました。

これまでの相原駅周辺のまちづくりは、2010年に提言書「相原駅周辺街づくりに向けて」や2013年に「相原駅周辺の街づくり方針」等が取りまとめられました。

2013年度からは、相原駅東西それぞれの諸課題への対応を図るため、西口と東口のそれぞれに「まちづくり検討会」を設置し、地区別のまちづくりの検討を進めてまいりました。

相原駅東口地区は、町田街道（大戸踏切）の立体交差事業により、駅東口にアクセスするための道路環境が大きく変わります。道路環境の変化によって、より快適な道路ネットワークの形成を行う必要があるため、「相原駅東口まちづくり検討会」において、駅東口へのアクセス路整



### ゾーン及びエリア位置図

備を契機としたまちづくり検討が行われました。

町田市は、まちづくり検討会からの意見等を踏まえ、2020年3月に「町田市相原駅東口地区まちづくり構想」（以下、「まちづくり構想」とする。）を策定しました。

まちづくり構想の対象地区は、JR横浜線相原駅東口に位置する約6.2haの区域です。まちづくり構想の目標は、「基盤整備にあわせた土地利用促進による生活に便利で賑わいのあるまちづくり」としており、まちづくりの方向性として、

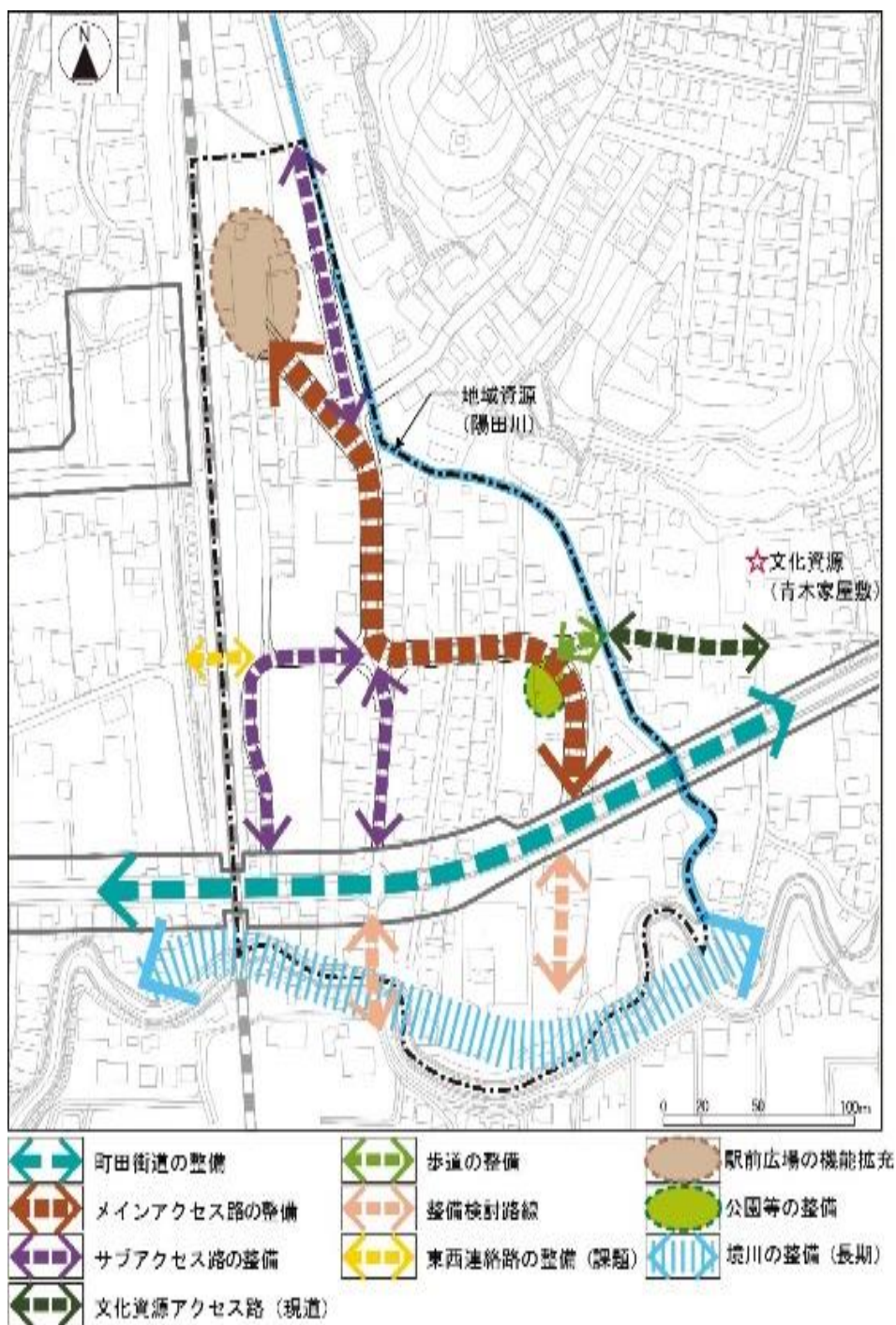
「相原駅東口地区としての拠点と賑わいを形成」、

「交通ネットワークの形成」、「良好な居住環境の形成」という3つを掲げています。整備の方針については、まちづくりの目標と方向性を踏まえて、相原駅東口地区を3つのゾーンと7つのエリアに分けて定め

ました。

今後は、まちづくり構想で示した目標の実現を図るため、「地区計画」の決定や「用途地域等」の変更を行います。地区計画とは、地区の特性に応じて、まちづくりの目標や方針を設定し、道路や公園等の地区施設を配置するとともに、建築物等の使い方のルールを定めるものです。また、用途地域等とは、地区計画に基づき建築できる建物の種類や用途のルール等を定めるものです。これらのルールを定めることにより、まちづくりを推進いたします。

なお、JR横浜線の地下を通る東西連絡路の整備につきましては、皆さまから強い要望を



## 都市基盤整備の方針

いただいていることは承知しており、相原駅周辺まちづくりの中で引き続き地元の皆さまとともに検討してまいります。

今後も引き続き、皆さまの日常生活を支えるまちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。